

クラウドサイン連携の設定ガイド

OPROARTS Connector for Salesforce篇

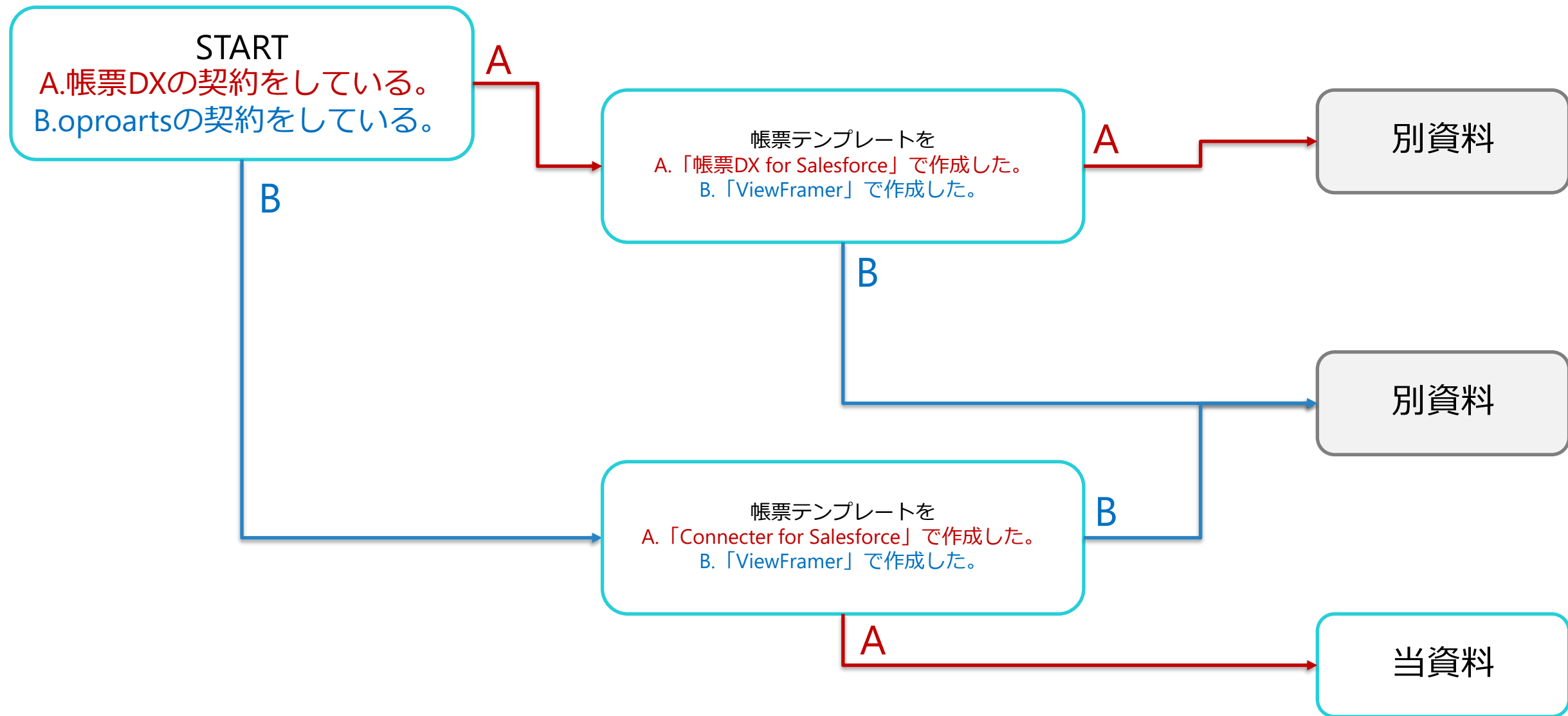
DX推進本部SE部



本資料について

- 同梱している以下の設定ファイルの変更部分を案内するガイドです。
 - ① D3Worker用「クラウドサイン連携(帳票名)_Connector for Salesforceテンプレート.d3w」
※4件のワークが含まれております。
 - ② ViewFramer用「CloudSign_sample.mapping」
- 以下動作を想定した手順一覧となります。
 - ・ クラウドサイン送付
 - ・ クラウドサイン送付後の各ステータスに応じたSalesforce項目更新
 - ・ 送信後：ステータスを承認待ちに変更
 - ・ 締結済み：ステータスを承認に変更&締結ファイルの添付
 - ・ 却下：ステータスを却下に変更
- 最低限の項目のみ解説しています。
- 必須項目は「*」で表現しています。

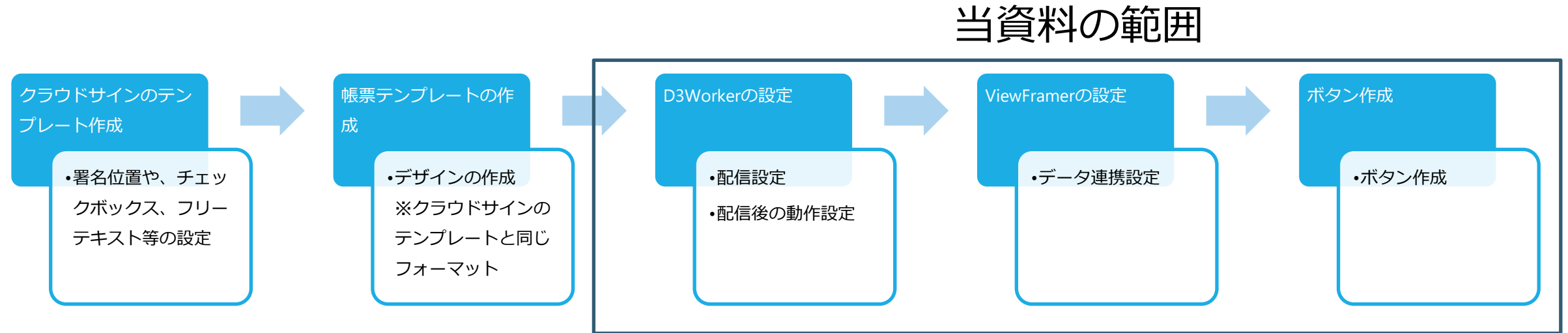
本資料について



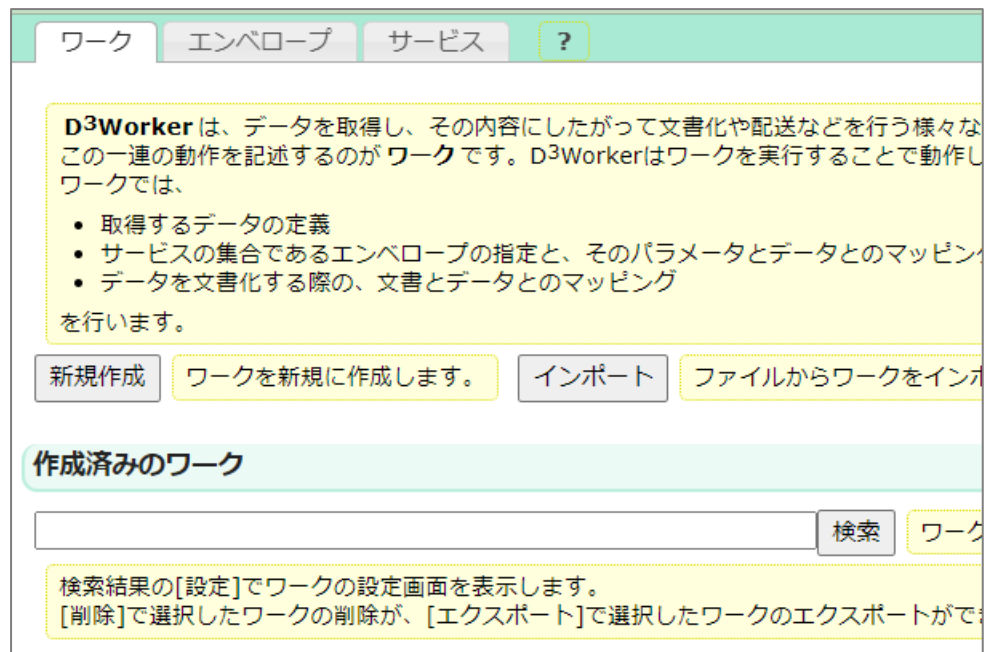
事前準備

1. Salesforceにoproarts connectorがインストールされ、認証情報が登録されていること
 - ・ セットアップガイドを一通り行ってください。
2. クラウドサインのテンプレートのご用意
 - ・ 署名の位置等を設定いたします。
3. 帳票テンプレートが作成済みであること
 - ・ クラウドサインのテンプレートと同じフォーマットを「Connector for Salesforce」で作成している。

全体設定の流れ



D3Workerにログインする



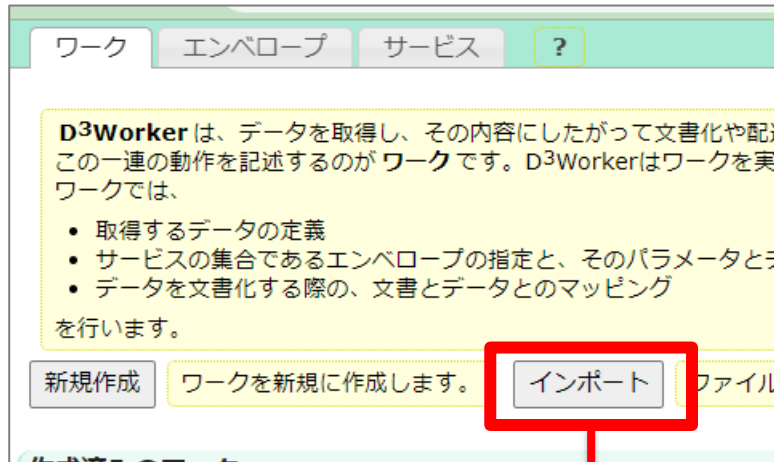
1. 弊社から認証情報が記載されたテキストファイルが送付されています。

1. 見つからない場合は、営業・SE・サポートのいずれかにご連絡ください。

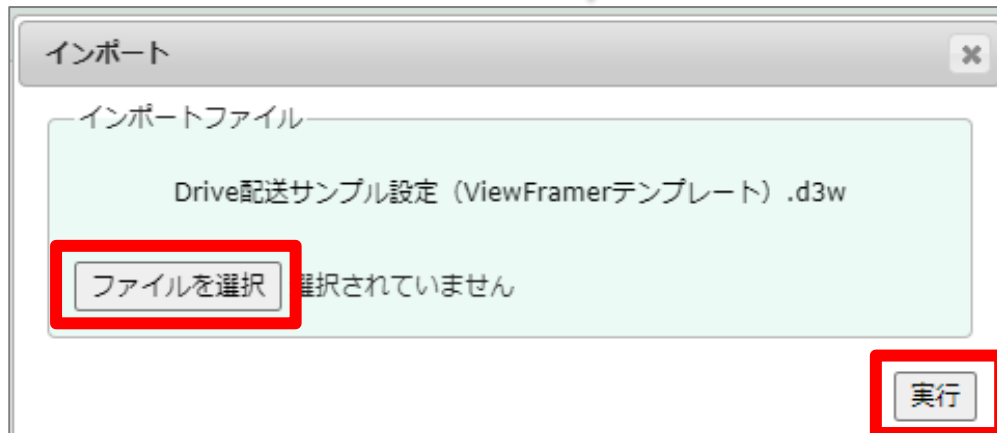
2. 「D3Worker.txt」内の「設定画面」URLをブラウザで開いてください。

1. UID、UPWも同テキスト内に記載されています。

クラウドサイン連携サンプル設定に含まれる.d3wファイルをインポートする



1. 「ワーク」タブの「インポート」ボタンをクリックします。
2. ファイル選択で、「クラウドサイン連携サンプル設定に含まれている.d3wファイルをアップロードし、実行をします。
3. 「検索」をクリックすると、インポートした設定が表示されます。



A large blue circle and a smaller blue circle are positioned on the left side of the slide, partially overlapping.

サービスの設定<配送>

- ・クラウドサイン連携_テンプレート配送
- ・クラウドサイン連携(帳票名)_Status更新_セッション
- ・クラウドサイン連携(帳票名)_Status更新

【サービス】クラウドサイン連携_テンプレート配送

ワーク エンベロープ サービス ?

文書化や配送などを行う個々のサービスの設定を行います。
サービスは、ワークの実行中にアクティブになったエンベロープによって、実行され

新規作成 サービスを新規に定義します。

定義済みのサービス

検索

検索結果の[設定]でサービスの設定画面を表示します。
[削除]で選択したサービスを削除できます。ただしワークやエンベロープで使用されて

名称	メモ
<input type="checkbox"/> クラウドサイン連携_テンプレート配送	配布用のひな型です。

1. 「サービス」タブを開き、「検索」ボタンをクリックするとインポートしたサービスが表示されます。
2. 「クラウドサイン連携_テンプレート配送」をダブルクリックで開きます。

【サービス】クラウドサイン連携_テンプレート配送

サービスの設定

名称

クラウドサイン連携_テンプレート配送

メモ

配布用のひな型です。

クラウドサイン テンプレート - ワーク実行

クラウドサインへ文書を配信します。契約の完了（同意または却下・取り消し）をもって配送の完了とします。契約が完了した際に、D3Workerのワークを実行できます。

クラウドサインのテンプレートに設定された宛先や入力項目を利用します。

D3Workerが契約の完了の通知を受け取るために、クラウドサインの管理画面、「チーム」の「Hook URL」に、
`https://d3w.ap.oproarts.com/d3w/a/_opro_salesdemo/service/cloudsign/callback_work`
を設定してください。

クラウドサインへの接続

エンドポイントURL

https://api.cloudsign.jp

クライアントID

※※クライアントIDを入力してください※※

AppID

接続の確認

テンプレート

テンプレートID

※※テンプレートIDを入力してください※※

読み込み

テンプレートIDは、クラウドサインのテンプレート概要画面のURLから得られます。
[読み込み]すると、テンプレートから宛先の情報を読み取り、[宛先]に設定します。

1. 名称

1. 名称は任意のためすべて変更いただいても問題ありません。

2. メモ

1. 検索ワードになります。自由にご変更ください。

3. Hook URL

1. 値をコピーしクラウドサインの管理画面「高度な設定」にURLをペーストしてください。※該当ページは後述します。

4. エンドポイントURL

1. 本番環境の場合は値を変更しないでください
2. Sandbox用の場合は下記リンクとなります。
・ <https://api-sandbox.cloudsign.jp>

5. クライアントID

1. クラウドサインの管理画面から発行してください。
※該当ページは後述します。

入力が完了しましたら、「接続の確認」をクリックし
「接続に成功しました。」と表示されたら成功です。

<Hook URLをクラウドサインへ入力>



◆ Hook URLの入力手順

1. D3WorkerよりHook URLをコピーしてください。
2. 「Hook URL」設定方法
 1. クラウドサインにログインをします。
 2. ログイン画面の右上から「管理画面に移動」を選択します。
3. メニュー「チーム設定」Hook URLの入力フォームにコピーした値を入力してください。



<クライアントID取得方法>



◆ クライアントIDの取得手順

1. ログイン画面の右上から管理画面に移動を選択します
2. メニューから「クライアントID」を選択
 1. 新しいクライアントIDを発行するをクリックし
クライアントIDを取得してください。
3. D3Workerに戻り、取得したIDを入力してください。



【サービス】クラウドサイン連携_テンプレート配送

テンプレート

テンプレートID	<input type="text" value="※※テンプレートIDを入力してください※※"/>	<input type="button" value="読み込み"/>
<div>テンプレートIDは、クラウドサインのテンプレート概要画面のURLから得られます。 [読み込み]すると、テンプレートから宛先の情報を読み取り、[宛先]に設定します。</div>		

配信時の動作

文書の扱い	<div>テンプレートのファイルを置き換える▼</div> <div>テンプレートのファイルを置き換えた結果、配置場所がなくなる入力項目は、書類から削除されます。</div>
書類の送信	<input checked="" type="radio"/> 送信する <input type="radio"/> 送信しない

書類	
タイトル	<input type="text"/>
送信先の名称	<input type="text"/>
契約締結日	<input type="text"/> yyyy-mm-ddまたはyyyy/mm/dd
契約開始日	<input type="text"/> yyyy-mm-ddまたはyyyy/mm/dd
契約終了日	<input type="text"/> yyyy-mm-ddまたはyyyy/mm/dd
自動更新の有無	<input type="button" value="指定なし▼"/>
解約通知期限	<input type="text"/> yyyy-mm-ddまたはyyyy/mm/dd
管理番号	<input type="text"/>
取引金額	<input type="text"/>
確認依頼メッセージ	<div><input type="text"/></div> <div>確認依頼メールに追加されるメッセージです。</div>
書類の転送	<input type="radio"/> 許可する <input checked="" type="radio"/> 許可しない

宛先	
<div>テンプレートの宛先に対して値を設定します。ここで設定しない値は、テンプレートの値が用いられます。 ただし、ワーク実行時に、この設定とテンプレートを含わせても、[メールアドレス]または[氏名]が空のままになる宛先については、この設定は無視されます。 また、書類を送信する場合、[メールアドレス]または[氏名]が空の宛先は、書類から削除されます。</div> <div>宛先、共有先で重複するメールアドレスは使用できません。</div> <div>ファイルアップロードはコーポレートブランド以上で使用できます。</div>	

メールアドレス	氏名	会社名	アクセスコード	ファイルアップロード
---------	----	-----	---------	------------

共有先

<div>ワーク実行時に、[メールアドレス]または[氏名]が空の共有先は使用されません。</div> <div>宛先、共有先で重複するメールアドレスは使用できません。</div>				
メールアドレス	氏名	会社名	+	×
1	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	×
			+	×

1. テンプレートID

- クラウドサインのテンプレート概要画面からIDを取得してください。
※取得手順は後述します。

2. 配信時の動作(現段階は編集不要です。)

- 文書の扱い
- 書類の送信

3. 書類(現段階は編集不要です。)

- 送付する書類について設定を行います。
※クラウドサインの書類情報に共有されます。

4. 宛先(現段階は編集不要です。)

- 送付する書類の宛先を指定します。

5. 共有先(現段階は編集不要です。)

- 送付する書類の共有先を指定します。

編集不要箇所については後ほど

エンベロープの設定時に編集を行います。

【サービス】クラウドサイン連携_テンプレート配送

クラウドサインへの送信後に実行するワーク

ワークには、1行のUTF8のデータCSVが渡されます。

実行するワーク	<input type="text"/>																												
データCSV	<p>フィールド値に <code>[\$SERVICE.ID]</code> を指定すると、クラウドサインのドキュメントIDが用いられます。</p> <table><thead><tr><th></th><th>フィールド値</th><th>+</th><th>×</th></tr></thead><tbody><tr><td>1</td><td><input type="text"/></td><td></td><td>×</td></tr><tr><td>2</td><td><input type="text"/></td><td></td><td>×</td></tr><tr><td>3</td><td><input type="text"/></td><td></td><td>×</td></tr><tr><td>4</td><td><input type="text"/></td><td></td><td>×</td></tr><tr><td>5</td><td><input type="text"/></td><td></td><td>×</td></tr><tr><td></td><td></td><td>+</td><td>×</td></tr></tbody></table>		フィールド値	+	×	1	<input type="text"/>		×	2	<input type="text"/>		×	3	<input type="text"/>		×	4	<input type="text"/>		×	5	<input type="text"/>		×			+	×
	フィールド値	+	×																										
1	<input type="text"/>		×																										
2	<input type="text"/>		×																										
3	<input type="text"/>		×																										
4	<input type="text"/>		×																										
5	<input type="text"/>		×																										
		+	×																										

契約の完了時に実行するワーク

ワークには、1行のUTF8のデータCSVと、契約が同意された場合には書類のファイルが渡されます。

契約が同意された場合

実行するワーク	<input type="text"/>												
ファイルのパラメータ名	<input type="text"/> <p>ファイルが複数ある場合はZIPしてワークに渡します。 パラメータ名が指定されていない場合はファイルは渡されません。</p> <p><input type="radio"/> 合意締結証明書を含める <input checked="" type="radio"/> 含めない <input type="radio"/> アップロードされたファイルを含める <input checked="" type="radio"/> 含めない</p>												
データCSV	<p>フィールド値に <code>[\$SERVICE.ID]</code> を指定すると、クラウドサインのドキュメントIDが用いられます。</p> <p>フィールド値に入力項目のインデックスを指定すると、入力項目に入力された値が用いられます。 入力項目のインデックスは、テンプレートを[読み込み]すると得られます。</p> <table><thead><tr><th></th><th>フィールド値</th><th>+</th><th>×</th></tr></thead><tbody><tr><td>1</td><td><input type="text"/></td><td></td><td>×</td></tr><tr><td></td><td></td><td>+</td><td>×</td></tr></tbody></table>		フィールド値	+	×	1	<input type="text"/>		×			+	×
	フィールド値	+	×										
1	<input type="text"/>		×										
		+	×										

契約が却下・取り消しされた場合

実行するワーク	<input type="text"/>												
データCSV	<p>フィールド値に <code>[\$SERVICE.ID]</code> を指定すると、クラウドサインのドキュメントIDが用いられます。</p> <p>フィールド値に入力項目のインデックスを指定すると、入力項目に入力された値が用いられます。 入力項目のインデックスは、テンプレートを[読み込み]すると得られます。</p> <table><thead><tr><th></th><th>フィールド値</th><th>+</th><th>×</th></tr></thead><tbody><tr><td>1</td><td><input type="text"/></td><td></td><td>×</td></tr><tr><td></td><td></td><td>+</td><td>×</td></tr></tbody></table>		フィールド値	+	×	1	<input type="text"/>		×			+	×
	フィールド値	+	×										
1	<input type="text"/>		×										
		+	×										

1. クラウドサインへの送信後に実行するワーク

1. 実行するワーク：クラウドサインの送信時に実行する動作を指定します。
※本資料ではSalesforceステータス項目を承認待ちに変更します。
2. データCSV：更新するSalesforce項目のAPI参照名を入力しています。

2. 契約の完了時に実行するワーク

1. 契約が同意された場合

1. 実行するワーク：送付した書類が同意された場合の動作を指定します。
※本資料ではSalesforceステータス項目を承認に変更&ファイル添付をします。
2. ファイルのパラメータ名(編集不要)
3. データCSV：更新するSalesforce項目のAPI参照名を入力しています。

2. 契約が却下・取り消しされた場合

1. 実行するワーク：送付した書類が却下された場合の動作を指定します。
※本資料ではSalesforceステータス項目を却下に変更します。
2. データCSV；更新するSalesforce項目のAPI参照名を入力しています。

【サービス】クラウドサイン連携(帳票名)_Status更新_セッション

ワーク エンベロープ **サービス** ?

文書化や配送などを行う個々のサービスの設定を行います。
サービスは、ワークの実行中にアクティブになったエンベロープによって、実行されます。

新規作成 サービスを新規に定義します。

定義済みのサービス

クラウドサイン連携(帳票名)_Status更新_セッション **検索** サービスの名称とメモを検索

検索結果の[設定]でサービスの設定画面を表示します。
[削除]で選択したサービスを削除できます。ただしワークやエンベロープで使用されているサービスは削除できません。

名称	メモ
<input type="checkbox"/> クラウドサイン連携(帳票名)_Status更新_セッション	配布用のひな型です。 クラウドサインの各ステータスに応じた動作を行います。

1. 「サービス」タブを開き、「検索」ボタンをクリックするとインポートしたサービスが表示されます。
2. 「クラウドサイン連携(帳票名)_Status更新_セッション」をダブルクリックで開きます。

【サービス】クラウドサイン連携(帳票名)_Status更新_セッション

サービスの設定

名称	クラウドサイン連携(帳票名)_Status更新_セッション
メモ	配布用のひな型です。 クラウドサインの各ステータスに応じた動作を行います。

1. 名称*

- [帳票名]の部分に対象帳票名をご入力ください。名称は自由ですのですべて変更いただいても問題ありません。

2. メモ

- 検索ワードになります。自由にご変更ください。

3. 項目*

- クラウドサインにリクエストを送った後に更新したいSalesforceの項目のAPI参照名を入力します。
 - オプロ→クラウドサインのタイミングとなり、署名完了はしていない状態のことです。

項目

項目の値は、エンベロープで設定します。

API参照名	+	x
※更新したい項目のAPI参照名を※		x
※入力してください※		x
※不要な項目は※		x

項目の値は、エンベロープで設定します。

API参照名	+	x
Status__c		x

☒ 値が空白の項目を無視する

実行時の値が空白の場合のふるまいを指定します。
チェックすると値が空白の項目は使用されません。チェックしない

【サービス】クラウドサイン連携(帳票名)_Status更新

ワーク エンベロープ サービス ?

文書化や配送などを行う個々のサービスの設定を行います。
サービスは、ワークの実行中にアクティブになったエンベロープによって、実行されます。

新規作成 サービスを新規に定義します。

定義済みのサービス

クラウドサイン連携(帳票名)_Status更新 検索 サービスの名称とメモを検索

検索結果の[設定]でサービスの設定画面を表示します。
[削除]で選択したサービスを削除できます。ただしワークやエンベロープで使用されているサービスは削除でき

名称	メモ
クラウドサイン連携(帳票名)_Status更新	配布用のひな型です。 クラウドサインの各ステータスに応じた動作を行います。

1. 「サービス」タブを開き、「検索」ボタンをクリックするとインポートしたサービスが表示されます。
2. 「クラウドサイン連携(帳票名)_Status更新」をダブルクリックで開きます。

【サービス】クラウドサイン連携(帳票名)_Status更新

サービスの設定

名称	クラウドサイン連携(帳票名)_Status更新
メモ	配布用のひな型です。 クラウドサインの各ステータスに応じた動作を行います。

1. 名称*

- [帳票名]の部分に対象帳票名をご入力ください。名称は自由ですのすべて変更いただいても問題ありません。

2. メモ

- 検索ワードになります。自由にご変更ください。

3. ログイン*

- 「接続」ボタンをクリックします。Salesforceへのログイン画面が開くので、ログインして「許可」をクリックします。

※Sandboxで検証する場合、「Sandboxへ接続する」をONにしてから「接続」をクリックします。

The image shows a screenshot of the Salesforce Files interface on the left and a permission dialog box on the right. The Salesforce Files interface has a header 'Salesforce Files [配送]' and a description: 'Salesforce Filesを使用して、ライブラリとオブジェクトにファイルを登録する配送サービスです。オブジェクトに対しては、ファイルを登録せずに、レコードの作成や更新だけを行うこともできます。' Below this is a section 'Salesforceへの接続' with a '接続' button highlighted by a red box. A green arrow points from the '接続' button to the permission dialog box. The permission dialog box is titled 'アクセスを許可しますか?' and lists permissions: 'ID URL サービスにアクセス', 'API を使用してユーザーデータを管理', and 'いつでも要求を実行'. At the bottom, there are '拒否' and '許可' buttons, with the '許可' button highlighted by a red box. The dialog box also includes a checkbox for 'Sandboxへ接続する' and a note about logging out and logging back in.

【サービス】クラウドサイン連携(帳票名)_Status更新

サービスの設定

名称	クラウドサイン連携(帳票名)_Status更新
メモ	配布用のひな型です。 クラウドサインの各ステータスに応じた動作を行います。

4. 項目*

- クラウドサインの契約完了時に更新したい
Salesforceの項目のAPI参照名を入力します。

項目

項目の値は、エンベロープで設定します。

API参照名	+	×
※更新したい項目のAPI参照名を※		×
※入力してください※		×
※不要な項目は※		×

削除

☒ 値が空白の項目を無視する

実行時
チェッ

項目の値は、エンベロープで設定します。

API参照名	+	×
Status__c		×
	+	×

実行時の値が空白の場合のふるまいを指定します。
チェックすると値が空白の項目は使用されません。チェックしない

A large blue circle and a smaller blue circle are positioned on the left side of the slide, partially overlapping each other.

サービスの設定<文書化>

- ・クラウドサイン連携（[帳票名]）文書化 OPROARTS Live for Salesforce
- ・クラウドサイン連携 アップロード文書
- ・クラウドサイン連携 ダミー文書

【サービス】クラウドサイン連携（[帳票名]）文書化 OPROARTS Live for Salesforce

ワーク エンベロープ サービス ?

文書化や配送などを行う個々のサービスの設定を行います。
サービスは、ワークの実行中にアクティブになったエンベロープによって、実行されます。

新規作成 サービスを新規に定義します。

定義済みのサービス

クラウドサイン連携（[帳票名]）文書化 OPROARTS Live for Salesf 検索 サービス

検索結果の[設定]でサービスの設定画面を表示します。
[削除]で選択したサービスを削除できます。ただしワークやエンベロープで使用されている

名称	メモ
<input type="checkbox"/> クラウドサイン連携（[帳票名]）文書化 OPROARTS Live for Salesforce	配布用のひな型です。
<input type="checkbox"/> クラウドサイン連携（[帳票名]）文書化 OPROARTS Live for Salesforce[1]	配布用のひな型です。

1. 「サービス」タブを開き、「検索」ボタンをクリックするとインポートしたサービスが表示されます。
2. 「クラウドサイン連携（[帳票名]）文書化 OPROARTS Live for Salesforce」をダブルクリックで開きます。

【サービス】クラウドサイン連携（[帳票名]）文書化 OPROARTS Live for Salesforce

サービスの設定	
名称	クラウドサイン連携（[帳票名]）文書化 OPROARTS Live for Salesf
メモ	配布用のひな型です。

OPROARTS Live for Salesforce	
基本情報	
URL	https://www.oproarts.com/liveffb/action 通常に変更する必要はありません。
Salesforceの接続情報	
セッションID	
ユーザーID	
組織ID	
Partner API URL	
OPROARTSキー	
OPROARTSオブジェクト名前空間プレフィクス	
リクエスト内容	
出力形式	PDF
出力するオブジェクトID	 カンマ区切りで複数のオブジェクトIDを指定できます。
文書の結合	結合しない 複数のオブジェクトIDが指定された場合に、オブジェクトごとの文書を「結合しない」場合は、オブジェクトごとの文書が一つのZIPにまとめ[出力形式]が「エクセル」の場合は、指定にかかわらず「結合しない」 [文書の結合]が「結合する」、[オブジェクトへの添付]が「添付する」の ・オブジェクトごとの文書（添付用） ・結合された文書 の両方が作成され、両方が課金対象としてカウントされます。
オブジェクトへの添付	添付しない 作成された文書をオブジェクトに添付するかどうかを指定します。添付
活動履歴への登録	登録しない 文書を作成したタイミングで活動履歴を登録するかどうかを指定します
件名	
コメント	

1. 名称*

1. [帳票名]の部分に対象帳票名をご入力ください。名称は自由ですですので変更いただいても問題ありません。

2. メモ

1. 検索ワードになります。自由にご変更ください。

3. 基本情報欄

1. 変更なし ※エンベロップで指定します。

4. リクエスト内容欄

1. 変更なし ※エンベロップで指定します。

項目の解説は以下のOPSS記事をご覧ください。

[D3Workerのサービス設定（Connector for Salesforce連携） – OPSS - 株式会社オプロ](#)

【サービス】クラウドサイン連携 アップロード文書

ワーク エンベロープ **サービス** ?

文書化や配送などを行う個々の **サービス** の設定を行います。
サービスは、ワークの実行中にアクティブになったエンベロープによって、実行されます。

新規作成 サービスを新規に定義します。

定義済みのサービス

クラウドサイン連携 アップロード文書 **検索** サービスの

検索結果の[設定]でサービスの設定画面を表示します。
[削除]で選択したサービスを削除できます。ただしワークやエンベロープで使用されているサ-

	名称	メモ
<input type="checkbox"/>		
<input type="checkbox"/>		
<input type="checkbox"/>	クラウドサイン連携 アップロード文書	配布用のひな型です。

1. 「サービス」タブを開き、「検索」ボタンをクリックするとインポートしたサービスが表示されます。
2. 「クラウドサイン連携 アップロード文書」をダブルクリックで開きます。

【サービス】クラウドサイン連携 アップロード文書

サービスの設定

名称	クラウドサイン連携 アップロード文書
メモ	配布用のひな型です。

アップロード文書

ワークの実行時にアップロードされたファイルまたは送信されたテキストを、文書として用いる文書化サービスです。
このサービスでは、ワークの[文書とデータのマッピング]の設定は使用しません。

リクエストパラメータ	<input type="text"/> 文書ファイルまたはテキストをD3Workerへ送信する際のHTTPリクエストパラメータ名を指定します。
文書名	<input type="text"/> アップロードされたファイル名よりも優先して用いられます。テキストが送信された場合の文書名として

アップロードファイル

ZIPファイルの場合	解凍しない ▼ [アーカイブ順で解凍する][名前順で解凍する]を選択した場合、アップロードされたZIPファイルに含ま [文書名]は使用されず、ZIPファイル内のファイル名が使用されます。
------------	---

テキストデータ

文字コード	シフトJIS ▼ 送信されたテキストを文書化する際の文字コードを指定します。
-------	--

1. 名称*

- 名称は自由ですので変更いただいても問題ありません。

2. メモ

- 検索ワードになります。自由にご変更ください。

3. リクエストパラメータ*

- 変更なし

【サービス】クラウドサイン連携 ダミー文書

ワーク エンベロープ **サービス** ?

文書化や配送などを行う個々のサービスの設定を行います。
サービスは、ワークの実行中にアクティブになったエンベロープによって、実行されます。

新規作成 サービスを新規に定義します。

定義済みのサービス

クラウドサイン連携 ダミー文書 **検索** サービスの名

検索結果の[設定]でサービスの設定画面を表示します。
[削除]で選択したサービスを削除できます。ただしワークやエンベロープで使用されているサー

	名称	メモ
<input type="checkbox"/>		
<input type="checkbox"/>		
<input type="checkbox"/>		
<input type="checkbox"/>		
<input type="checkbox"/>	クラウドサイン連携 ダミー文書	配布用のひな型です。

1. 「サービス」タブを開き、「検索」ボタンをクリックするとインポートしたサービスが表示されます。
2. 「クラウドサイン連携 ダミー文書」をダブルクリックで開きます。

【サービス】クラウドサイン連携 ダミー文書

サービスの設定

名称	クラウドサイン連携 ダミー文書
メモ	配布用のひな型です。

ダミー文書

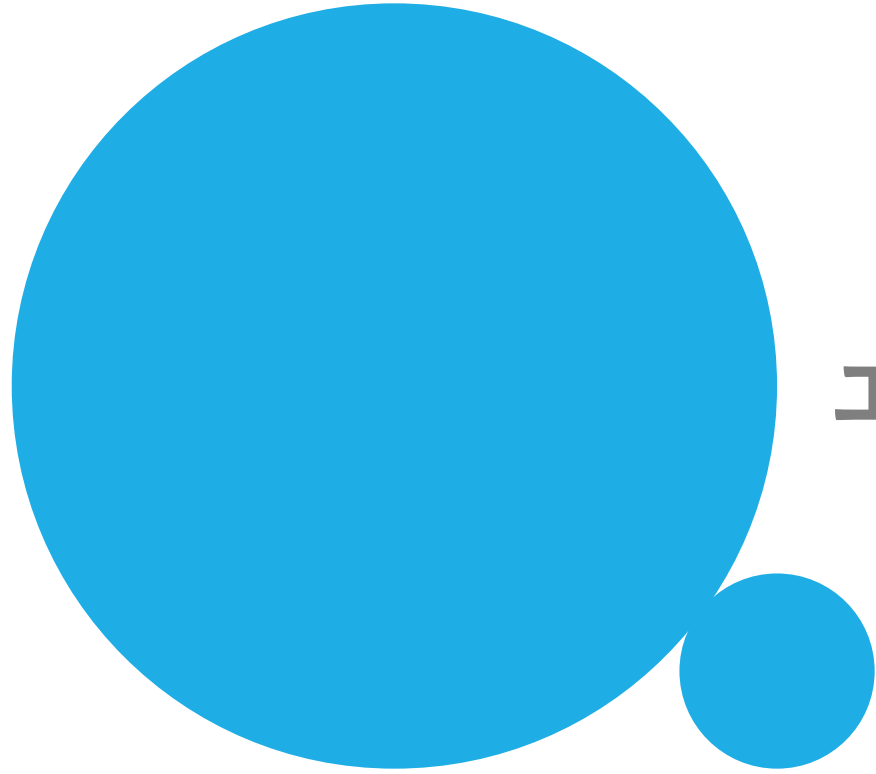
一つの空のファイルを文書として用いる文書化サービスです。
文書化サービスを必要としないエンベロープで使用できます。
このサービスでは、ワークの[文書とデータのマッピング]の設定は使用しません。

1. 名称*

- 名称は自由ですので変更いただいても問題ありません。

2. メモ

- 検索ワードになります。自由にご変更ください。



エンベロープの設定

【エンベロープ】クラウドサイン連携(帳票名)_Connector for Salesforceテンプレート

ワーク エンベロープ サービス ?

エンベロープは、文書化や配送などを行う様々なサービスをひとまとめにした処理の単
ワークの実行中に、特定のデータなどをきっかけにエンベロープがアクティブになり、
これによって、データのキー項目の値に応じて、配送方法を変えるなどといったことが

新規作成 エンベロープを新規に作成します。

作成済みのエンベロープ

検索 エン

検索結果の[設定]でエンベロープの設定画面を表示します。
[削除]で選択したエンベロープを削除できます。ただしワークで使用されているエンベ

名称	メモ
クラウドサイン連携(帳票 名)_Connector for Salesforceテン プレート	配布用のひな型です。

1. 「エンベロープ」タブを開き、「検索」ボタンをクリックするとインポートしたエンベロープが表示されます。
2. 「クラウドサイン連携(帳票名)_Connector for Salesforceテンプレート」をダブルクリックで開きます。

【エンベロープ】 「基本」 タブ

基本	属性	文書化サービス	保管サービス	配送サービス
名称	クラウドサイン連携(帳票名)_Connector for Salesforceテンプレート			
メモ	<div>配布用のひな型です。</div>			
件名	<div></div>			編集

「基本」 タブ

- 名称*
 - [帳票名]の部分に対象帳票名をご入力ください。名称は自由ですのですべて変更いただいても問題ありません。
- メモ
 - 検索ワードになります。自由にご変更ください。
- 件名
 - ログに出てくる情報です。ワーク名を入れておくことをお勧めします。

【エンベロープ】 {○○} について ※重要※

選択済みの文書化サービス

クラウドサイン連携（[帳票名]）文書化 OPROARTS Live for Salesforce

Salesforceの接続情報

セッションID	{session_id}	編集
ユーザーID	{user_id}	編集
組織ID	{org_id}	編集
Partner API URL	{partner_api_url}	編集
OPROARTSキー	LA	編集
OPROARTSオブジェクト 名前空間プレフィクス	oproarts1	編集

リクエスト内容

ここでエンベロープパラメータを使用すると、一つのエンベロープで複数の文書が作成される場合は、文書ごとにエンベロープパラメータの値が決定されます。

出力形式	PDF	▼
出力するオブジェクトID	{record_id}	編集
カンマ区切りで複数のオブジェクトIDを指定できます。		
文書の結合	サービスの設定を用いる▼ 複数のオブジェクトIDが指定された場合に、オブジェクトごとの文書を結合した一つの文書を作成するかどうかを指定します。 「結合しない」場合は、オブジェクトごとの文書が一つのZIPにまとめられます。 [出力形式]が「エクセル」の場合は、指定にかかわらず「結合しない」として扱われます。 [文書の結合]が「結合する」、[オブジェクトへの添付]が「添付する」の場合で、複数のオブジェクトIDが指定された場合、 ・オブジェクトごとの文書（添付用） ・結合された文書 の両方が作成され、両方が課金対象としてカウントされます。	
オブジェクトへの添付	サービスの設定を用いる▼ 作成された文書をオブジェクトに添付するかどうかを指定します。添付できないオブジェクトの場合は「添付しない」を指定してください。	
活動履歴への登録	サービスの設定を用いる▼ 文書を作成したタイミングで活動履歴を登録するかどうかを指定します。活動履歴を登録できないオブジェクトの場合は「登録しない」を指定してください。 件名 サービスの設定を用いる 編集 コメント サービスの設定を用いる 編集	

● {○○} について ※重要

- Salesforceの項目を差し込むタグです。D3Workerでは「パラメータ」と表現しています。エンベロープでは、Salesforceから差し込む項目の位置を指定しています。
 - ※「サービス」ではパラメータを使用できません。

● 「サービスの設定を用いる」と記載されている項目

- 適宜、要件に応じて変更してください。

【エンベロープ】 「文書化サービス」 タブ

選択済みの文書化サービス

クラウドサイン連携（[帳票名]）文書化 OPROARTS Live for Salesforce

Salesforceの接続情報

セッションID	<input type="text" value="{session_id}"/>	<input type="button" value="編集"/>
ユーザーID	<input type="text" value="{user_id}"/>	<input type="button" value="編集"/>
組織ID	<input type="text" value="{org_id}"/>	<input type="button" value="編集"/>
Partner API URL	<input type="text" value="{partner_api_url}"/>	<input type="button" value="編集"/>
OPROARTSキー	<input type="text" value="LA"/>	<input type="button" value="編集"/>
OPROARTSオブジェクト 名前空間プレフィクス	<input type="text" value="oproarts1"/>	<input type="button" value="編集"/>

リクエスト内容

ここでエンベロープパラメータを使用すると、一つのエンベロープで複数の文書が作成される場合は、文書ごとにエンベロープパラメータの値が決定されます。

出力形式	<input type="text" value="PDF"/>						
出力するオブジェクトID	<input type="text" value="{record_id}"/> <input type="button" value="編集"/> <small>カンマ区切りで複数のオブジェクトIDを指定できます。</small>						
文書の結合	<input type="text" value="サービスの設定を用いる"/> <small>複数のオブジェクトIDが指定された場合に、オブジェクトごとの文書を結合した一つの文書を作成するかどうかを指定します。 「結合しない」場合は、オブジェクトごとの文書が一つのZIPにまとめられます。 [出力形式]が「エクセル」の場合は、指定にかかわらず「結合しない」として扱われます。 [文書の結合]が「結合する」、[オブジェクトへの添付]が「添付する」の場合で、複数のオブジェクトIDが指定された場合、 ・オブジェクトごとの文書（添付用） ・結合された文書 の両方が作成され、両方が課金対象としてカウントされます。</small>						
オブジェクトへの添付	<input type="text" value="サービスの設定を用いる"/> <small>作成された文書をオブジェクトに添付するかどうかを指定します。添付できないオブジェクトの場合は「添付しない」を指定してください。</small>						
活動履歴への登録	<input type="text" value="サービスの設定を用いる"/> <small>文書を作成したタイミングで活動履歴を登録するかどうかを指定します。活動履歴を登録できないオブジェクトの場合は「登録しない」を指定してください。</small> <table><tr><td>件名</td><td><input type="text" value="サービスの設定を用いる"/></td><td><input type="button" value="編集"/></td></tr><tr><td>コメント</td><td><input type="text" value="サービスの設定を用いる"/></td><td><input type="button" value="編集"/></td></tr></table>	件名	<input type="text" value="サービスの設定を用いる"/>	<input type="button" value="編集"/>	コメント	<input type="text" value="サービスの設定を用いる"/>	<input type="button" value="編集"/>
件名	<input type="text" value="サービスの設定を用いる"/>	<input type="button" value="編集"/>					
コメント	<input type="text" value="サービスの設定を用いる"/>	<input type="button" value="編集"/>					

- 「文書化サービス」タブはサービスの「クラウドサイン連携（[帳票名]）文書化 OPROARTS Live for Salesforce」を参照しています。
- 「サービスの設定を用いる」とある箇所はご要件に応じて変更できますが、今回は変更不要です。

【エンベロープ】「配送サービス」タブ

クラウドサイン連携_テンプレート配送 ▼

クラウドサインへ文書を配信します。契約の完了（同意または却下・取り消し）をもって配送の完了とします。
契約が完了した際に、D3Workerのワークを実行できます。

D3Workerが契約の完了の通知を受け取るために、クラウドサインの管理画面、「チーム」の「Hook URL」に、
`https://d3w.ap.oproarts.com/d3w/a/_opro_salesdemo/service/cloudsign/callback_work`
を設定してください。

クラウドサインへの接続

クライアントID サービスの設定を用いる 編集

テンプレート

テンプレートID サービスの設定を用いる 編集

配信時の動作

文書の扱い テンプレートのファイルを置き換える▼
テンプレートのファイルを置き換えた結果、配置場所がなくなる入力項目は、書類から削除されます。

書類の送信 ☒ 送信する ☐ 送信しない ☐ サービスの設定を用いる

書類

タイトル ※※任意のタイトルを入力してください※※ 編集

送信先の名称 ※※任意の送信先の名称を入力してください。 編集

契約締結日 {契約締結日} 編集 yyyy-mm-ddまたはyyyy/mm/dd

契約開始日 {契約開始日} 編集 yyyy-mm-ddまたはyyyy/mm/dd

契約終了日 {契約終了日} 編集 yyyy-mm-ddまたはyyyy/mm/dd

自動更新の有無 指定なし ▼

- 「配送」サービスタブでは「クラウドサイン連携_テンプレート配送」を参照しています。
- すでに登録してあるパラメータは基本的には変更・削除しないでください。

{○○} (パラメータ)
Salesforceのデータを差し込む箱

【エンベロープ】 「配送サービス」 タブ

クラウドサイン連携_テンプレート配送▼

クラウドサインへ文書を配信します。契約の完了（同意または却下・取り消し）をもって配送の完了とします。
契約が完了した際に、D3Workerのワークを実行できます。

D3Workerが契約の完了の通知を受け取るために、クラウドサインの管理画面、「チーム」の「Hook URL」に、
`https://d3w.ap.oproarts.com/d3w/a/_opro_salesdemo/service/cloudsign/callback_work`
を設定してください。

クラウドサインへの接続

クライアントID サービスの設定を用いる 編集

テンプレート

テンプレートID サービスの設定を用いる 編集

配信時の動作

文書の扱い テンプレートのファイルを置き換える▼
テンプレートのファイルを置き換えた結果、配置場所がなくなる入力項目は、書類から削除されます。

書類の送信 ● 送信する ○ 送信しない ○ サービスの設定を用いる

書類

タイトル ※※任意のタイトルを入力してください※※ 編集

送信先の名称 ※※任意の送信先の名称を入力してください。 編集

契約締結日 {契約締結日} 編集 yyyy-mm-ddまたはyyyy/mm/dd

契約開始日 {契約開始日} 編集 yyyy-mm-ddまたはyyyy/mm/dd

契約終了日 {契約終了日} 編集 yyyy-mm-ddまたはyyyy/mm/dd

自動更新の有無 指定なし▼

解約通知期限 yyyy-mm-ddまたはyyyy/mm/dd

管理番号

取引金額

確認依頼メッセージ
確認依頼メールに追加されるメッセージです。

書類の転送 ○ 許可する ● 許可しない

宛先
テンプレートの宛先に対して値を設定します。ここで設定しない値は、テンプレートの値が用いられます。
ただし、ワーク実行時に、この設定とテンプレートを合わせても、{メールアドレス}または{名前}が空のままになる宛先については、この設定は無視されます。
また、書類を送信する場合、{メールアドレス}または{名前}が空の宛先は、書類から削除されます。
宛先、共有先で重複するメールアドレスは使用できません。

共有先
ワーク実行時に、{メールアドレス}または{氏名}が空の共有先は使用されません。
宛先、共有先で重複するメールアドレスは使用できません。

メールアドレス 氏名 会社名

1 サービスの設定を用いる 編集 サービスの設定を用いる 編集 サービスの設定を用いる 編集

1. テンプレートID

1. クラウドサインのテンプレート概要画面からIDを取得してください。※
取得手順は後述します。

2. 配信時の動作

1. 文書の扱い：変更不要
2. 書類の送信：変更不要

3. 書類

1. 送付する書類について設定を行います。
※クラウドサインの書類情報に共有されます。
2. 動的にしたい箇所は{}で囲ってください。

4. 宛先

1. 送付する書類の宛先を指定します。
2. Salesforce項目の内容から宛先を指定したい場合は{}で囲ってください。

5. 共有先

1. 送付する書類の共有先を指定します。

【エンベロープ】「配送サービス」タブ

クラウドサインへの送信後に実行するワーク

実行するワーク	クラウドサイン連携(サンプル)_送信後実行	編集
データCSV	フィールド値に <code>[\$SERVICE.ID]</code> を指定すると、クラウドサインのドキュメント	
	フィールド値	
1	{インスタンスURL}	編集
2	{セッションID}	編集
3	{ユーザーID}	編集
4	{レコードID}	編集
5	{組織ID}	編集

クラウドサイン連携(サンプル)_送信後実行
ワーク

基本 データソース エンベロープ 文書とデータのマッピング

CSVの形式

文字コード	シフトJIS
先頭行	<input type="checkbox"/> データとして使用しない

フィールド

フィールド名	+	×
1 インスタンスURL	▼	×
2 セッションID	▲▼	×
3 ユーザーID	▲▼	×
4 レコードID	▲▼	×
5 組織ID	▲	×
CSVを取得	+	×

次に実行されるワークの
データソースとイコールに
なる。
順番も同じにします。

クラウドサインへの送信後に実行するワーク

- クラウドサインへリクエストを送った後に
実行するワークを指定しています。
- データCSV
 - 「実行するワーク」の「データソース」に引き
渡すデータをここで指定する必要があります。
 - 「クラウドサイン連携(サンプル)_送信後実行」
のデータソースにフィールドを追加した場合、
同じようにデータCSVを追加してください。

【エンベロープ】「配送サービス」タブ

契約完了後に実行するワーク

- クラウドサインから契約完了のフラグを受け取った後に実行するワークを指定しています。
- データCSV
 - 「実行するワーク」の「データソース」に引き渡すデータをここで指定する必要があります。
 - 「クラウドサイン連携(サンプル)_承認後実行」「クラウドサイン連携(サンプル)_却下後実行」のデータソースにフィールドを追加した場合、同じようにデータCSVを追加してください。

契約の完了時に実行するワーク

契約が同意された場合

実行するワーク: クラウドサイン連携(サンプル)_承認後実行

ファイルのパラメータ名: CloudSign_file

フィールド値に [{\$SERVICE.ID}] を指定すると、クラウドサインのドキュメントIDが用いられます。

データCSV

フィールド値: {レコードID}

クラウドサイン連携(サンプル)_承認後実行ワーク

契約が却下・取り消された場合

実行するワーク: クラウドサイン連携(サンプル)_却下後実行

データCSV

フィールド値: {レコードID}

クラウドサイン連携(サンプル)_却下後実行ワーク

次に実行されるワークのデータソースとイコールになる。順番も同じにします。

【エンベロープ】クラウドサイン連携(サンプル)_送信後実行

ワーク

エンベロープ

サービス

?

エンベロープは、文書化や配送などを行う様々なサービスをひとまとめにした処理の単位です。ワークの実行中に、特定のデータなどをきっかけにエンベロープがアクティブになり、エンベロープによって、データのキー項目の値に応じて、配送方法を変えるなどといったことが可能となります。

新規作成

エンベロープを新規に作成します。

作成済みのエンベロープ

クラウドサイン連携(サンプル)_送信後実行

検索

エンベロープ

検索結果の[設定]でエンベロープの設定画面を表示します。
[削除]で選択したエンベロープを削除できます。ただしワークで使用されているエンベロープは削除できません。

	名称	メモ
<input type="checkbox"/>		
<input type="checkbox"/>	クラウドサイン連携(サンプル)_送信後実行	配布用のひな型です。 書類を送付した際に実行します。
<input type="checkbox"/>		

1. 「エンベロープ」タブを開き、「検索」ボタンをクリックするとインポートしたエンベロープが表示されます。
2. 「クラウドサイン連携(サンプル)_送信後実行」をダブルクリックで開きます。

【エンベロープ】クラウドサイン連携(サンプル)_送信後実行

dummy

一つの空のファイルを文書として用いる文書化サービスです。
文書化サービスを必要としないエンベロープで使用できます。
このサービスでは、ワークの[文書とデータのマッピング]の設定は使用しません。

1. 文書化サービス：変更不要

2. 配送サービス

1. Salesforce接続情報：変更不要

2. 文書ファイル・ライブラリ

1. 下記サイトを参考に、用途に応じて変更ください。

[D3Workerのサービス設定記事「Salesforce Files \[配送\] - セッション」 - OPSS - 株式会社オプロ](#)

3. オブジェクト

1. 更新するオブジェクトやSalesforce項目を指定します。

1. 今回は契約オブジェクトの「状況（API参照名：Status）」項目を「承認待ち」に変更しております。

2. ファイルの添付有無をご変更いただけます。

Salesforceの接続情報

インスタンスURL

セッションID 実行時にはセッションIDも必要です。エンベロープの設定でパラメータを指定し、ワークでセッションIDの値を指定してください。

ユーザーID

組織ID

文書ファイル

説明

カスタム項目

API参照名	値
<input type="text"/>	<input type="text"/>

文書データの登録 ☒ する ☐ しない

ライブラリ

ライブラリ ライブラリが指定されている場合にのみ、ファイルをライブラリに公開します。

フォルダ フォルダにファイルを登録する場合は、「フォルダ1/フォルダ2」のように、フォルダを「/」区切りで指定してください。存在しないフォルダは作成されます。

オブジェクト

オブジェクトのAPI参照名 API参照名が指定されている場合にのみ、レコードの作成や更新・ファイル添付を行います。

オブジェクトレコードのID ☐ SOQL レコードのIDで指定されたレコードを更新・ファイル添付します。レコードが存在しない場合、レコードのIDが空白の場合はレコードを作成して添付します。
[SOQL]をチェックすると、指定値を、レコードのIDを取得するためのSOQLとして扱います。SOQLは、一つの項目を、一件だけ取得するものとしてください。SOQL内のエンベロープパラメータ値はエスケープされます。したがって引用符を含むSOQL全体をエンベロープパラメータで指定することはできません。

ファイルの添付 ☐ する ☐ Attachmentにする ☐ しない ☒ サービスの設定を用いる 添付しない場合は、レコードの作成や更新のみを行います。Attachmentには文書ファイルのカスタム項目は適用されません。

項目

[SOQL]をチェックすると、指定値を、項目の値を取得するためのSOQLとして扱います。SOQLは、一つの項目を、一件だけ取得するものとしてください。SOQL内のエンベロープパラメータ値はエスケープされます。したがって引用符を含むSOQL全体をエンベロープパラメータで指定することはできません。

API参照名	値
Status	<input type="text" value="承認待ち"/> <input type="button" value="編集"/> <input type="checkbox"/> SOQL

【エンベロープ】クラウドサイン連携(サンプル)_承認後実行

ワーク エンベロープ サービス ?

エンベロープは、文書化や配送などを行う様々なサービスをひとまとめにした処理の単位です。ワークの実行中に、特定のデータなどをきっかけにエンベロープがアクティブになり、エンベロープによって、データのキー項目の値に応じて、配送方法を変えるなどといったことが可能となります。

新規作成 エンベロープを新規に作成します。

作成済みのエンベロープ

クラウドサイン連携(サンプル)_承認後実行 検索 エンベロープの

検索結果の[設定]でエンベロープの設定画面を表示します。
[削除]で選択したエンベロープを削除できます。ただしワークで使用されているエンベロープは削除できません。

名称	メモ
<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/> クラウドサイン連携(サンプル)_承認後実行	配布用のひな型です。 送付した書類が承認された際に実行します。
<input type="checkbox"/>	

1. 「エンベロープ」タブを開き、「検索」ボタンをクリックするとインポートしたエンベロープが表示されます。
2. 「クラウドサイン連携(サンプル)_承認後実行」をダブルクリックで開きます。

【エンベロープ】クラウドサイン連携(サンプル)_承認後実行

1. 文書化サービス

1. リクエストパラメータ：変更不要
2. 文書名：変更不要
3. Zipファイルの場合：用途に応じて変更ください。

2. 配送サービス

1. Salesforce接続情報：変更不要
2. 文書ファイル・ライブラリ
 1. 下記サイトを参考に、用途に応じて変更ください。
[D3Workerのサービス設定（Salesforce Files \[配送\]）](#) – [OPSS - 株式会社オプロ \(opro.net\)](#)
3. オブジェクト
 1. 更新するオブジェクトやSalesforce項目を指定します。
 1. 今回は契約オブジェクトの「状況（API参照名：Status）」項目を「承認」に変更しております。
 2. ファイルの添付有無をご変更いただけます。

②【文書化】アップロード文書

ワークの実行時にアップロードされたファイルまたは送信されたテキストを、文書として用いる文書化サービスです。
このサービスでは、ワークの[文書とデータのマッピング]の設定は使用しません。

リクエストパラメータ
エンベロープパラメータを用いると、エンベロープがアクティブ化されるたびに異なるファイルを使用することができます。

文書名

アップロードファイル

ZIPファイルの場合

Salesforceの接続情報

インスタンスURL

セッションID 実行時にはセッションIDも必要です。エンベロープの設定でパラメータを指定し、ワークでセッションIDの値を指定してください。

ユーザーID

組織ID

文書ファイル

説明

カスタム項目

API参照名	値
<input type="text"/>	<input type="text"/>

文書データの登録 ☒ する ☐ しない

ライブラリ

ライブラリ ライブラリが指定されている場合にのみ、ファイルをライブラリに公開します。

フォルダ フォルダにファイルを登録する場合は、「フォルダ1/フォルダ2」のように、フォルダを「/」区切りで指定してください。存在しないフォルダは作成されます。

オブジェクト

オブジェクトのAPI参照名
API参照名が指定されている場合にのみ、レコードの作成や更新・ファイル添付を行います。

オブジェクトレコードのID ☐ SOQL
レコードのIDで指定されたレコードを更新・ファイルを添付します。
レコードが存在しない場合、レコードのIDが空白の場合はレコードを作成して添付します。
[SOQL]をチェックすると、指定値を、レコードのIDを取得するためのSOQLとして扱います。
SOQLは、一つの項目を、一件だけ取得するものとしてください。
SOQL内のエンベロープパラメータ値はエスケープされます。したがって引用符を含むSOQL全体をエンベロープパラメータで指定することはできません。

ファイルの添付 ☒ する ☐ Attachmentにする ☐ しない ☐ サービスの設定を用いる
添付しない場合は、レコードの作成や更新のみを行います。
Attachmentには文書ファイルのカスタム項目は適用されません。

項目

[SOQL]をチェックすると、指定値を、項目の値を取得するためのSOQLとして扱います。
SOQLは、一つの項目を、一件だけ取得するものとしてください。
SOQL内のエンベロープパラメータ値はエスケープされます。したがって引用符を含むSOQL全体をエンベロープパラメータで指定することはできません。

API参照名	値
Status	承認

☐ SOQL

【エンベロープ】クラウドサイン連携(サンプル)_却下後実行

ワーク エンベロープ サービス ?

エンベロープは、文書化や配送などを行う様々なサービスをひとまとめにした処理の単位です。
ワークの実行中に、特定のデータなどをきっかけにエンベロープがアクティブになり、エンベロープにあ
これによって、データのキー項目の値に応じて、配送方法を変えるなどといったことが可能となります。

新規作成 エンベロープを新規に作成します。

作成済みのエンベロープ

クラウドサイン連携(サンプル)_却下後実行 検索 エンベロープの名称と

検索結果の[設定]でエンベロープの設定画面を表示します。
[削除]で選択したエンベロープを削除できます。ただしワークで使用されているエンベロープは削除でき

	名称	メモ
<input type="checkbox"/>		
<input type="checkbox"/>	クラウドサイン連携(サンプル)_却下後 実行	配布用のひな型です。 送付した書類が却下された場合に実行します。
<input type="checkbox"/>		

1. 「エンベロープ」タブを開き、「検索」ボタンをクリックするとインポートしたエンベロープが表示されます。
2. 「クラウドサイン連携(サンプル)_却下後実行」をダブルクリックで開きます。

【エンベロープ】クラウドサイン連携(サンプル)_却下後実行

dummy

一つの空のファイルを文書として用いる文書化サービスです。
文書化サービスを必要としないエンベロープで使用できます。
このサービスでは、ワークの[文書とデータのマッピング]の設定は使用しません。

1. 文書化サービス：変更不要

2. 配送サービス

1. Salesforce接続情報：変更不要

2. 文書ファイル・ライブラリ

1. 下記サイトを参考に、用途に応じて変更ください。

[D3Workerのサービス設定（Salesforce Files \[配送\]）](#) –
[OPSS - 株式会社オプロ \(opro.net\)](#)

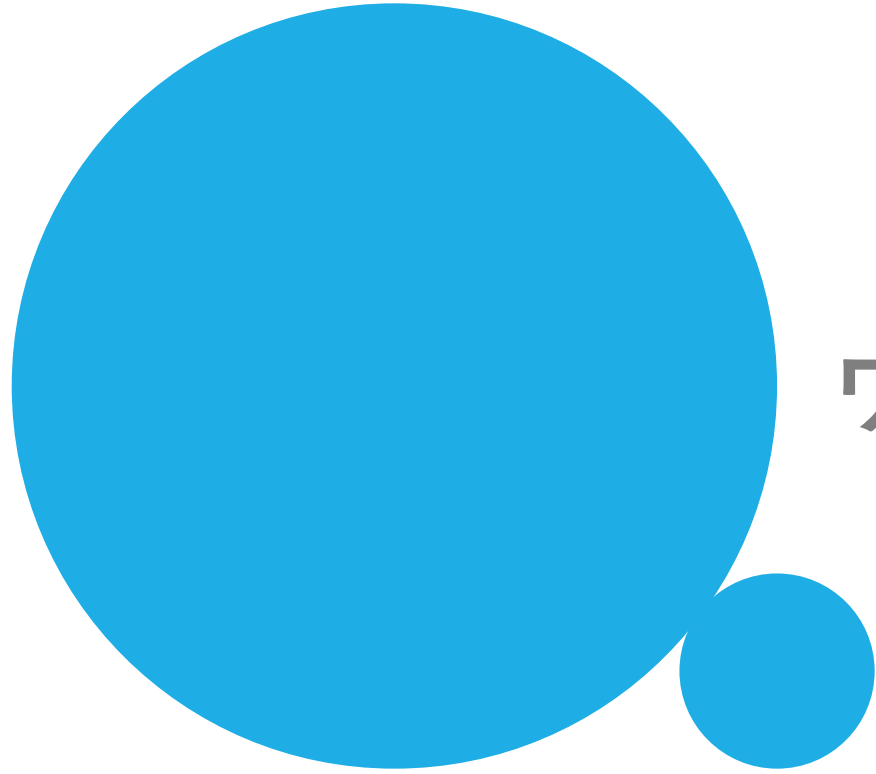
3. オブジェクト

1. 更新するオブジェクトやSalesforce項目を指定します。

1. 今回は契約オブジェクトの「状況（API参照名：Status）」項目を「却下」に変更しております。

2. ファイルの添付有無をご変更いただけます。

Salesforceの接続情報					
インスタンスURL	<input type="text"/>				
セッションID	<input type="text"/> 実行時にはセッションIDも必要です。エンベロープの設定でパラメータを指定し、ワークでセッションIDの値を指定してください。				
ユーザーID	<input type="text"/>				
組織ID	<input type="text"/>				
文書ファイル					
説明	<input type="text"/>				
カスタム項目	<table><tr><td>API参照名</td><td>値</td></tr><tr><td><input type="text"/></td><td><input type="text"/></td></tr></table>	API参照名	値	<input type="text"/>	<input type="text"/>
API参照名	値				
<input type="text"/>	<input type="text"/>				
文書データの登録	<input checked="" type="radio"/> する <input type="radio"/> しない				
ライブラリ					
ライブラリ	<input type="text"/> ライブラリが指定されている場合にのみ、ファイルをライブラリに公開します。				
フォルダ	<input type="text"/> フォルダにファイルを登録する場合は、「フォルダ1/フォルダ2」のように、フォルダを「/」区切りで指定してください。存在しないフォルダは作成されます。				
オブジェクト					
オブジェクトのAPI参照名	<input type="text"/> Contract <input type="button" value="編集"/> API参照名が指定されている場合にのみ、レコードの作成や更新・ファイル添付を行います。				
オブジェクトレコードのID	<input type="text"/> (レコードID) <input type="button" value="編集"/> <input type="checkbox"/> SOQL レコードのIDで指定されたレコードを更新・ファイル添付します。 レコードが存在しない場合、レコードのIDが空白の場合はレコードを作成して添付します。 [SOQL]をチェックすると、指定値を、レコードのIDを取得するためのSOQLとして扱います。 SOQLは、一つの項目を、一件だけ取得するものとしてください。 SOQL内のエンベロープパラメータ値はエスケープされます。したがって引用符を含むSOQL全体をエンベロープパラメータで指定することはできません。				
ファイルの添付	<input type="radio"/> する <input checked="" type="radio"/> Attachmentにする <input type="radio"/> しない <input type="radio"/> サービスの設定を用いる 添付しない場合は、レコードの作成や更新のみを行います。 Attachmentには文書ファイルのカスタム項目は適用されません。				
項目	[SOQL]をチェックすると、指定値を、項目の値を取得するためのSOQLとして扱います。 SOQLは、一つの項目を、一件だけ取得するものとしてください。 SOQL内のエンベロープパラメータ値はエスケープされます。したがって引用符を含むSOQL全体をエンベロープパラメータで指定することはできません。 <table><tr><td>API参照名</td><td>値</td></tr><tr><td>Status</td><td>却下 <input type="button" value="編集"/> <input type="checkbox"/> SOQL</td></tr></table>	API参照名	値	Status	却下 <input type="button" value="編集"/> <input type="checkbox"/> SOQL
API参照名	値				
Status	却下 <input type="button" value="編集"/> <input type="checkbox"/> SOQL				



ワークの設定

【ワーク】 クラウドサイン連携(帳票名) Connector for Salesforceテンプレート

ワーク エンベロープ サービス ?

D3Workerは、データを取得し、その内容にしたがって文書化や配送などを行う様々なサービスの一連の動作を記述するのがワークです。D3Workerはワークを実行することで動作します。ワークでは、

- 取得するデータの定義
- サービスの集合であるエンベロープの指定と、そのパラメータとデータとのマッピング
- データを文書化する際の、文書とデータとのマッピング

を行います。

新規作成 ワークを新規に作成します。 インポート ファイルからワークをインポート

作成済みのワーク

検索 ワークの名

検索結果の[設定]でワークの設定画面を表示します。
[削除]で選択したワークの削除が、[エクスポート]で選択したワークのエクスポートができます。

名称	メモ
<input type="checkbox"/> クラウドサイン連携(帳票名)_connector for Salesforce	配布用のひな型です。

1. 「ワーク」タブを開き、「検索」ボタンをクリックするとインポートしたワークが表示されます。
2. 「クラウドサイン連携（[帳票名]_connector for Salesforce）」をダブルクリックで開きます。

【ワーク】 「基本」 タブ

基本	データソース	エンベロープ	文書とデータのマッピング
名称	<input type="text" value="クラウドサイン連携(帳票名)_connector for Salesforce"/>		
メモ	<input type="text" value="配布用のひな型です。"/>		
件名	<input type="text"/>		<input type="button" value="編集"/>

- 名称*

- [帳票名]の部分に対象帳票名をご入力ください。名称は自由ですのですべて変更いただいても問題ありません。

- メモ

- 検索ワードになります。自由にご変更ください。

- 件名

- ログに出てくる情報です。ワーク名を入れておくことをお勧めします。

【ワーク】 「データソース」 タブ

● フィールド名* ※重要

- Salesforceから受け取る項目を指定しています。ここに指定されているデータを、後続のエンベロープや帳票に割り当てます。
- 実際のデータの指定（オブジェクト名・項目名等）は、ViewFramerで行います。ここでは項目名のみの定義となります。
- エンベロープで{パラメータ}を追加した場合は、紐づける項目名をここに追加します。
- user_id, session_id, partner_api_url, org_id, InstanceURL 等は下記記事を参考にさせていただきながら事前に出力したいオブジェクトに項目を作成してください。

[D3Workerのサービス設定記事「Salesforce Files \[配送\] - セッション」](#) – [OPSS - 株式会社オプロ](#)

[D3Workerのサービス設定（Connector for Salesforce連携）](#) – [OPSS - 株式会社オプロ](#)

基本

データソース

エンベロープ

文書とデータのマッピング

CSVの形式

文字コード

シフトJIS

先頭行

☐ データとして使用しない

フィールド

	フィールド名	+	×
1	取引先名	▼	×
2	取引先責任者	▲▼	×
3	取引金額	▲▼	×
4	契約終了日	▲▼	×
5	契約締結日	▲▼	×
6	契約開始日	▲▼	×
7	user_id	▲▼	×
8	session_id	▲▼	×
9	partner_api_url	▲▼	×
10	org_id	▲▼	×
11	record_id	▲▼	×
12	InstanceURL	▲	×
	CSVを取得	+	×

一括追加

追加するフィールド数

追加

フィールドの読み込み

ここにCSVファイルをドロップしてください。
先頭行をフィールド名として読み込みます。

ファイルを選択

選択されていません

キャンセル

実行

【ワーク】 「エンベロープ」 タブ

選択済みのエンベロープ

クラウドサイン連携(帳票名)_Connector for Salesforceテンプレート

アクティブ化するフィールド

エンベロープフィールド ▼

アクティブ化するフィールド値

☒ ELSEとして使用する

エンベロープパラメータの値	
{InstanceURL}	[InstanceURL] 編集
{org_id}	[org_id] 編集
{partner_api_url}	[partner_api_url] 編集
{record_Id}	[record_id] 編集
{session_id}	[session_id] 編集
{user_Id}	[user_id] 編集
{取引先名}	[取引先名] 編集
{取引先責任者}	[取引先責任者] 編集
{取引金額}	[取引金額] 編集
{契約終了日}	[契約終了日] 編集
{契約締結日}	[契約締結日] 編集

- このワークで使用するエンベロープを紐づけています。サンプルの項目に関してはエンベロープを指定済みです。
- エンベロープで指定したパラメータにどのデータを引き渡すのか紐づけをしています。データソースで追加したフィールドを紐づける必要があります。
 - エンベロープで新しくパラメータを作成した場合は、データソースにフィールドを追加の上紐づけを行ってください。
(次ページ説明)

【ワーク】 「エンベロープ」 タブ <パラメータの紐づけ方>

エンベロープ> 設定

通知メールの本文

{取引先}
{取引先責任者}様

いつもお世話になっております
オプロの{担当者}です。

請求書を送付いたしますのでご査収ください。
メール下部のURLリンクよりダウンロードいただけます。

よろしくお願いいたします。

ワーク> エンベロープ

Drive配信 ([帳票名])

アクティブ化するフィールド
エンベロープフィールド

アクティブ化するフィールド値

☒ ELSEとして使用する

エンベロープパラメータの値		
{TODAY}	[TODAY]	編集
{org_Id}	[org_Id]	編集
{partner_api_url}	[partner_api_url]	編集
{recordId}	[recordId]	編集
{session_Id}	[session_Id]	編集
{user_Id}		編集
{ファイル名}		編集
{取引先}		編集
{取引先責任者}	[取引先責任者]	編集
{担当者}		編集
{送信先}	[送信先]	編集

パラメータの紐づけ方

1. 「エンベロープ」の設定で{〇〇}（パラメータ）を作成すると、ワークのエンベロープにも追加されます。

【ワーク】 「エンベロープ」 タブ <パラメータの紐づけ方>

ワーク>エンベロープ

{ファイル名}		編集
{取引先}		編集
{取引先責任者}	[取引先責任者]	編集
{担当者}		編集
{送信先}	[送信先]	編集

パラメータの紐づけ方

1. パラメータの「編集」をクリックします。
2. 「データソース」欄にあるフィールド名から紐づけたいフィールドをダブルクリックします。

1. ダブルクリックすると、下枠の「エンベロープパラメータ」に[〇〇]と入力されます。
3. OKをクリックします。

エンベロープパラメータ {担当者}

利用可能な変数

リクエストパラメータ
新規パラメータ

データソース

- 取引先
- 取引先責任者
- 送信先
- 金額
- 担当者

システム変数

- ジョブID
- データソースの行番号

エンベロープパラメータ {担当者}

[担当者]

追加される

ダブルクリック

OK キャンセル

【ワーク】 「文書とデータのマッピング」 タブ

文書名	※ファイル命名規則を入力※	編集
テンプレート		
テンプレート名	※ここにテンプレート名を入力※	編集
	<input type="checkbox"/> フォントの埋め込みを指示する	
切り替えフィールド	▼	

● 文書名

- 帳票のファイル名の命名規則です。
- 編集ボタンから、データソースと固定文言を組み合わせて指定することができます。

例：[取引先名]様向け請求書_[TODAY]

● テンプレート名

- 設定不要です。

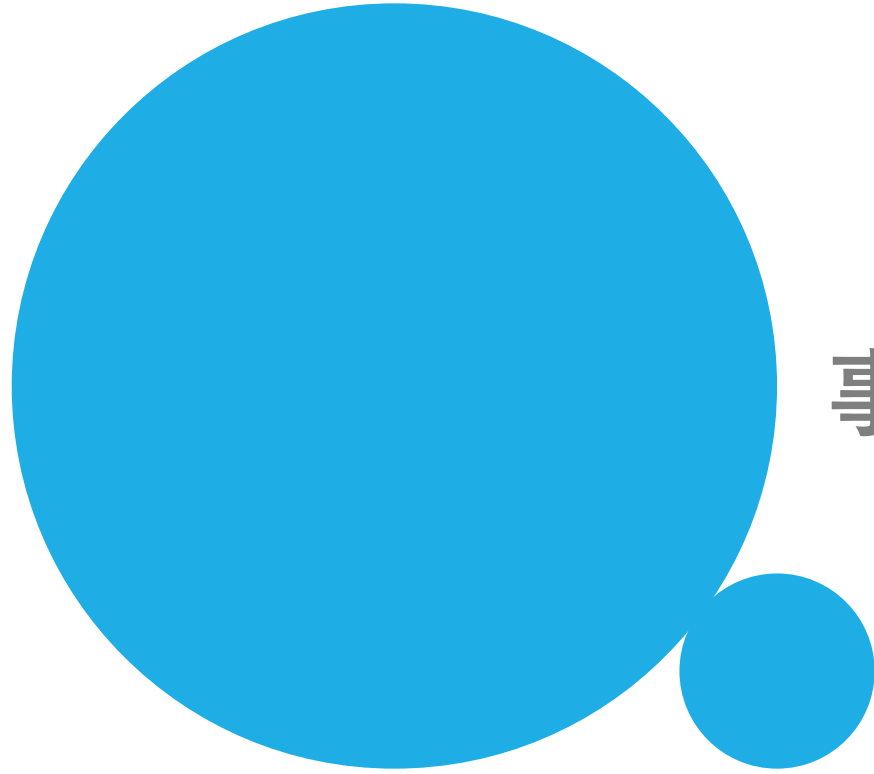
● データセット

- テンプレートを入力してください。

D3Workerの検証

<input type="checkbox"/>	クラウドサイン連携(帳票名)_connector for Salesforce	配布用のひな型です。	検査 設定 コピー
--------------------------	---	------------	-----------

- 最後にワークの検証を行い、設定漏れがないかを確認します。
- 「ワーク」タブで、検査を行うワークの右にある「検査」をクリックします。
- OK：「実行可能な状況です」と表示されます。
- NG：どこの設定が不足しているか表示されます。



事前準備（ViewFramerの前）

Salesforceにセッション用項目を作成する

表示ラベル(例)	API参照名(例)	データ型	数式
セッションID	SessionId_c	数式(テキスト)	\$Api.Session_ID
PartnerSeverURL	PartnerSeverURL_c	数式(テキスト)	\$Api.Partner_Server_URL_220
組織ID	OrgId_c	数式(テキスト)	\$Organization.Id
ユーザID	UserId_c	数式(テキスト)	\$User.Id

※組織IDとユーザIDが固定の場合は「セッションID」項目のみの作成でOKです。

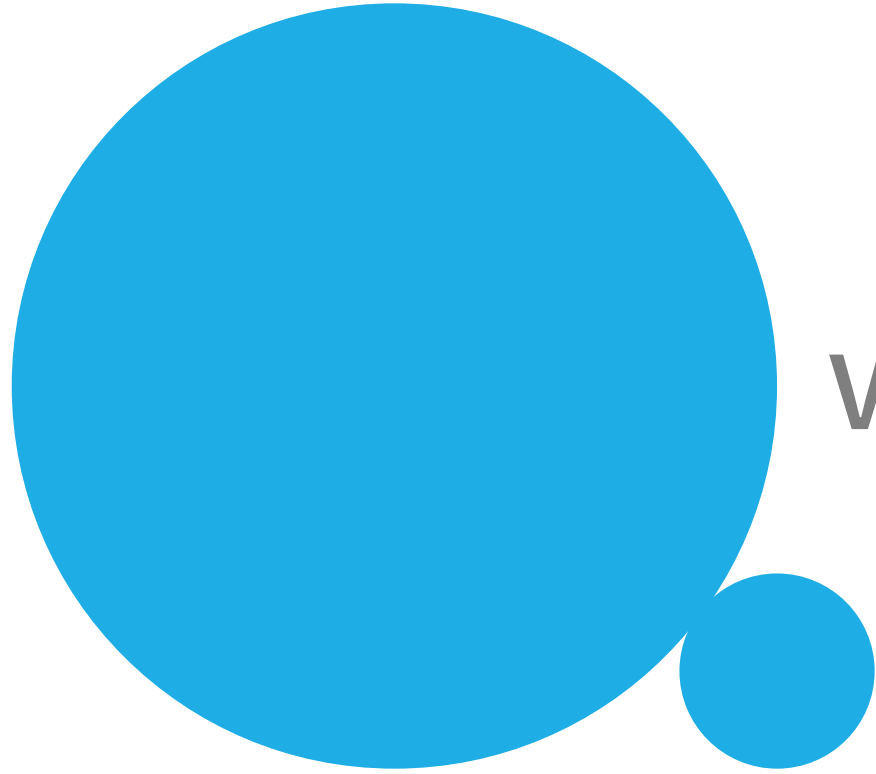
※上記4項目はすべて数式項目のため、ユーザがアクセス・参照する度評価され値が変動します。

表示ラベル(例)	API参照名(例)	データ型	数式
セッションID	SessionId	数式(テキスト)	\$Api.Session_ID
組織ID	OrgId	数式(テキスト)	\$Organization.Id
ユーザID	UserId	数式(テキスト)	\$User.Id
インスタンスURL	InstanceURL	数式(テキスト)	LEFT(\$Api.Partner_Server_URL_350, FIND("/services/Soap/", \$Api.Partner_Server_URL_350))

※組織IDとユーザIDが固定の場合は「セッションID」と「インスタンスURL」項目の作成でOKです。サービス設定画面で組織ID・ユーザIDの固定値を指定してください。

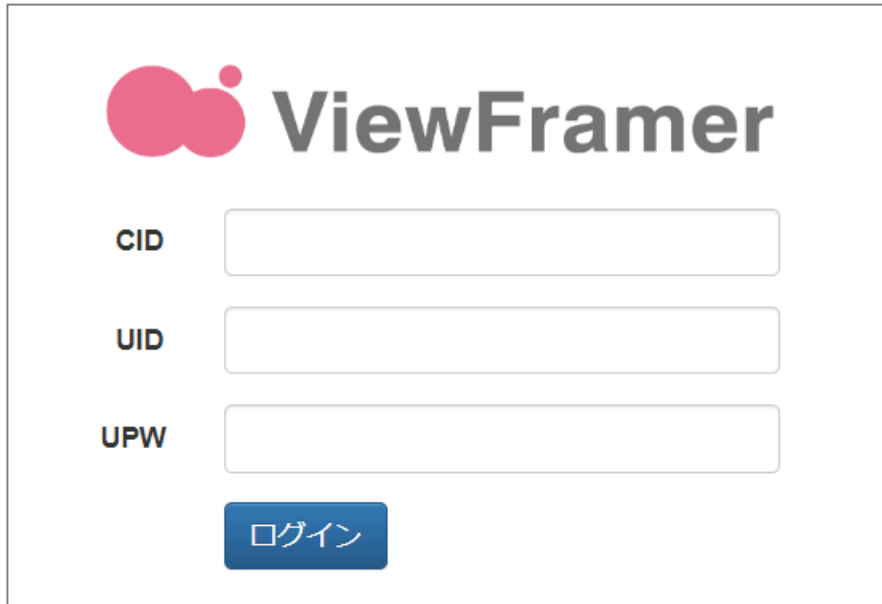
※上記4項目はすべて数式項目のため、ユーザがアクセス・参照する度評価され値が変動します。

- oproartsとSalesforceの認証に必要な項目を5つSalesforceに作成してください。
 - 作成するオブジェクトはボタン配置オブジェクトです。
- 詳細はサポートサイトの以下の記事をご確認ください。
 - [D3Workerのサービス設定（Connector for Salesforce連携）](#)
 - [D3Workerのサービス設定記事「Salesforce Files \[配送\] - セッション」 - OPSS - 株式会社オプロ](#)



ViewFramerの設定

ViewFramerのログイン

The image shows a login form for ViewFramer. At the top left is the ViewFramer logo, which consists of two overlapping pink circles followed by the text "ViewFramer" in a bold, dark grey sans-serif font. Below the logo are three input fields, each with a label to its left: "CID", "UID", and "UPW". Each label is in a bold, dark grey sans-serif font. The input fields are white with a thin grey border. Below the input fields is a blue rectangular button with the white text "ログイン" (Login).

- ブラウザでViewFramerにログインします。
- ViewFramerのログインには認証情報の「LAD（デザイナー用）」用UID・UPWを使用します。
 - D3WorkerのUID・UPWとは別なのでご注意ください。

設定ファイルをインポートする



マッピング ビュー CSVオブジェクト 表示設定 認証設定

マッピング：一覧

新規 インポート



インポートするファイルを選択し、インポート後のマッピング名を入力してください。 ×

ファイル ファイルの選択 CloudSign_VFR_sample.mapping

マッピング名 CloudSign_VFR_sample_Import202309051117

OK キャンセル

1. 「マッピング」タブの「インポート」ボタンをクリックします。
2. ファイル選択で「Cloudsign_VFR_sample.mapping」をアップロードします。
 1. マッピング名は英数字アンダーバーで指定可能です。
3. 設定ファイルがインポートできました。

ビューの編集を許可する

CloudSign_VFR_sample_Import202309051117

未配備

Salesforce







マッピング：定義 (編集)

マッピング名 CloudSign_VFR_sample_Import202309051117

タグ (Enterキーで確定)

タイプ 単票型

ビューの編集を許可する ☒


主データ main

ビュー CloudSign_VFR_sample_Import202309051118 取得

No	項目	検索結果	
1	取引先名	☑	+ -
2	取引先責任者	☑	+ -
3	契約開始日	☑	+ -

戻る 元に戻す

次へ

- インポートした設定はビュー設定の編集が許可されていないため、許可の設定を行います。
- インポートしたマッピングの編集アイコンをクリックします。
- 「ビューの編集を許可する」チェックをつけます。
- 「次へ」をクリックします。

D3Workerとの紐づけ

- Salesforceにログインをします。
- 「D3Worker」タブを開きます。

ログイン

データソース: Salesforce

☐ Sandboxへ接続する

現在のセッション情報を継続する ログイン

マッピング ビュー CSVオブジェクト 表示設定 認証設定

接続情報を確認してください。

マッピング : 定義 (drive_sample_import202308090934)

出力確認 Documentizer D3Worker CSV

D3Worker

URL: https://d3w.ap.oproarts.com/d3w/api/ 接続

D3Workerとの紐づけ

- URLにD3Workerの接続URLを入力し「接続」をクリックします。
 - <https://d3w.ap.oproarts.com/d3w/api/{お客様のテナント名}/>
- ワークのプルダウンから、前章のワーク名「クラウドサイン連携(帳票名)_connector for Salesforce」を指定してください。
 - ここに出てこない場合はD3Workerの設定が不十分です。検証を行ってください。

D3Workerとの紐づけ

No	Workフィールド	データ	データフィールド	画像
1	取引先名	main	取引先名	<input type="checkbox"/>
2	取引先責任者	main	取引先責任者	<input type="checkbox"/>
3	取引金額	main	取引金額	<input type="checkbox"/>
4	契約終了日	main	契約終了日	<input type="checkbox"/>
5	契約締結日	main	契約締結日	<input type="checkbox"/>
6	契約開始日	main	契約開始日	<input type="checkbox"/>
7	recordID	main	recordid	<input type="checkbox"/>
8	※※契約書に※※	main	取引先責任者	<input type="checkbox"/>
9	※※表示する※※	main	契約開始日	<input type="checkbox"/>
10	※※項目を入力してください※※	main	契約終了日	<input type="checkbox"/>

自動マッピング

保存 配備

自動マッピングをクリックすると、
Workフィールドとデータフィールド名を一致させます。

- 「自動マッピング」をクリックしてください。
 - 「Workフィールド」がD3Workerのデータソース、「データフィールド」がViewFramerビュー定義の項目名です。これを対応させることで、ViewFramerからD3WorkerへSalesforceデータの受け渡しができます。
- 「配備」ボタンをクリックします。

ビュー設定<項目定義>

マッピング

ビュー

CSVオブジェクト

表示設定

認証設定

CloudSign_VFR_sample

クラウド
サイン連
携,サ
ンプル

Salesforce



- 「ビュー」タブを開きます。
- インポートしたビュー定義を編集します。
編集アイコンをクリックします。



ビュー設定<リレーション設定>

マッピング ビュー CSVオブジェクト 表示設定 認証設定

ビュー：定義 (CloudSign_VFR_sample)

基本設定 リレーション設定 出力項目設定 出力条件設定

リレーション設定

主オブジェクト 契約 [Contract] main_object

サンプルで契約を設定しています。
適切なオブジェクト（ボタンを置く
オブジェクト）に変更してください。

No 関連オブジェクト

1 取引先 [Account] relation_object1 + -

No	項目名	演算子	オブジェクト	項目名
1	取引先 ID	等しい(=)	0-契約 [Contract]	取引先 ID

AND + -

* 関連オブジェクト
サンプルで取引先を紐づけています。
適宜変更してください。

- 「リレーション設定」タブを開きます。
 - ここでは配信に必要なオブジェクトを指定します。
- サンプルとして契約オブジェクトを起点にした設定がされています。「主オブジェクト」を実際に使用するメインオブジェクトに変更してください。
 - 主オブジェクトとは、配信ボタンを置くオブジェクトです。
 - ショートネーム（右側のmain_object）は変更しないでください。
- 主オブジェクトの変更に伴い、関連オブジェクトの取引先のリレーションを変更してください。
 - 使用しない場合は、「-」ボタンで削除してください。
- 適宜、必要な関連オブジェクトを追加してください。

ビュー設定<リレーション設定>

No	関連オブジェクト
1	<div><div>取引先 [Account]</div><div>relation_object1</div><div>+ -</div></div>

No	項目名	演算子	オブジェクト	項目名
1	取引先 ID	等しい(=)	0-契約 [Contract]	取引先 ID

関連オブジェクトについて

- 主オブジェクトに指定したオブジェクトに紐づく参照項目先のデータを使用したい場合に設定します。
- 左の例の場合、契約Objの取引先IDで取引先Objを検索し同じ「取引先ID」のレコードを取得する、という設定です。標準Objの項目のためわかりにくいですが、参照項目の場合は「主.参照項目名」＝「関連.ID」で紐づけられます。

ビュー設定＜項目設定＞

出力項目設定について

- D3Workerに渡すSalesforceのデータを定義します。
- 「出力項目名」はD3Workerのデータソースと紐づけますので、同名にします。サンプルではすでに定義されていますが、Salesforce項目は空ですので次ページの手順で各項目名に項目を指定してください。
- D3Workerのデータソースに追加したフィールドを追加してください。

基本設定 リレーション設定 **出力項目設定** 出力条件設定

出力項目設定

対象取得元 main_object 全項目を追加

No	項目	ソート	グループ	出力項目名	
1	relation_object1.取引先名 項目ビルダー	順	昇順 順	取引先名	+ -
2	relation_object2.氏名 項目ビルダー	順	昇順 順	取引先責任者	+ -
3	FORMAT_DATE(main_object.契 項目ビルダー	順	昇順 順	契約開始日	+ -
4	FORMAT_DATE(main_object.契 項目ビルダー	順	昇順 順	契約終了日	+ -
5	" 項目ビルダー	順	昇順 順	契約締結日	+ -
6	relation_object3.金額 項目ビルダー	順	昇順 順	取引金額	+ -
7	" 項目ビルダー	順	昇順 順	user_id	+ -
8	" 項目ビルダー	順	昇順 順	session_id	+ -

ビュー設定<項目設定>

1	"main_object.商談 II	項目ビルダー	順
2	"	項目ビルダー	順

項目ビルダー

列追加

削除する

構文チェック

列追加

オブジェクト

main_object

列

"Current Generator(s)"

項目名

OK キャンセル

各出力項目名に紐づけるSalesforceの項目を設定します。

1. 「項目ビルダー」をクリックします。
2. 入力されているものは削除します。
3. 「列追加」をクリックします。
4. 使用するオブジェクトと列（項目）を指定してOKをクリックします。

1. 「オブジェクト」はリレーション設定で指定したオブジェクトです。「列」は項目名です。

ビュー設定<項目設定>

項目ビルダー

追加

main_object.Amount

追加された

構文チェック

関数

選択された関数を挿入

すべての関数

演算子

AND
OR
NOT
=

OK

キャンセル

Salesforce項目が追加された

main_object.金額

- 項目（API参照名）が追加されましたので、OKをクリックします。
- すべての項目を同じように項目指定をしていきます。
- D3Workerのデータソースにフィールドを新規追加した場合は、「+」ボタンで項目を追加してください。

新規追加

main_object.金額

ビュー設定＜出力条件設定＞

基本設定 リレーション設定 出力項目設定 出力条件設定

出力条件設定

☒ Limitを超えるデータがある場合は無視せずにエラーにする。

No 取得元

1 main_object Limit 未設定の場合は200,000が設定されます。

No	項目名	演算子	条件値
1	契約 ID	いずれかと等しい(IN)	パラメータ recordId

2 relation_object1 Limit 未設定の場合は200,000が設定されます。

No	項目名	演算子	条件値
----	-----	-----	-----

3 relation_object2 Limit 未設定の場合は200,000が設定されます。

No	項目名	演算子	条件値
----	-----	-----	-----

一覧に戻る 戻る 元に戻す 保存

出力条件設定について

- Salesforceからデータを取得する際の最低限の条件設定です。

設定の変更は不要のため、「保存」ボタンをクリックしてください。

マッピングを更新する

マッピング：一覧

新規 インポート

作成者
oproarts連携用

マッピング名	タグ	配備状況	データソース	アクション
(フィルター)		(フィルター)	(フィル ↓	
CloudSign_VFR_sample_Import202309051117		未配備	Salesforce	



主データ main

ビュー CloudSign_VFR_sample_Import202309051118 取得

No	項目	検索結果
1	取引先名	☑
2	取引先責任者	☑
3	契約開始日	☑

1. 「マッピング」タブを開き、編集



します。

2. ビューの「取得」ボタンをクリックします。

1. ビューの項目を追加/削除している場合は
ここで内容が更新されます。

3. 「次へ」に進みます。

マッピングを更新する



ログイン

データソース

Salesforce

☐ Sandboxへ接続する

現在のセッション情報を継続する ログイン

- Salesforceにログインをします。
 - 2回目以降は「現在のセッション情報を継続する」でログインをスキップできます。
- 「D3Worker」タブを開きます。



マッピング：定義 (CloudSign_VFR_sample_Import202309051117) : 出力設定

出力確認 Document D3Worker CSV

D3Worker

URL 接続

ワーク クラウドサイン連携(帳票名)_Viewframer

送信フィールド

No	Workフィールド	データ	データフィールド
1	取引先名	main	取引先名
2	取引先責任者	main	取引先責任者
3	取引金額	main	取引金額
4	契約終了日	main	契約終了日

D3Workerとの紐づけ

- 「自動マッピング」をクリックしてください。
- 「配備」 ボタンをクリックします。

ワーク クラウドサイン連携(帳票名)_connector for Salesfor...

送信フィールド

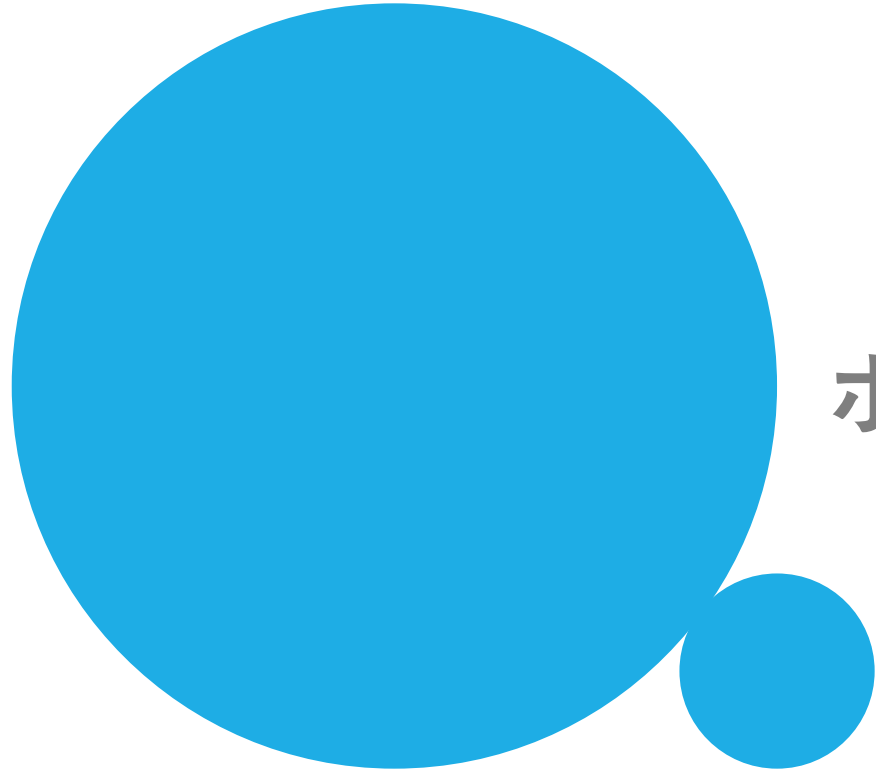
No	Workフィールド	データ	データフィールド	画像
1	取引先名	main	取引先名	<input type="checkbox"/>
2	取引先責任者	main	取引先責任者	<input type="checkbox"/>
3	取引金額	main	取引金額	
4	契約終了日	main	契約終了日	
5	契約締結日	main	契約締結日	
6	契約開始日	main	契約開始日	
7	user_id	main	user_id	
8	session_id	main	session_id	
9	partner_api_url	main	partner_api_url	
10	org_id	main	org_id	
11	record_id	main	record_id	
12	InstanceURL	main	InstanceURL	

一覧に戻る 戻る 元に戻す

自動マッピング





保存 配備

自動マッピングをクリックすると、
Workフィールドとデータフィールド
ド名を一致させます。



ボタン作成

ボタン作成

マッピング名	タグ	配備状況	データソース	アクション	APIサンプル
(フィルター)		(フィルター)	(フィル ↓)		
CloudSign_VFR_sample_Import202309051117		未配備	Salesforce	    	APIサンプル



出力スクリプトサンプル (Salesforce連携)

サービス

D3Worker

形式

PDF

アップロード

☐ CSVオブジェクトを使用している

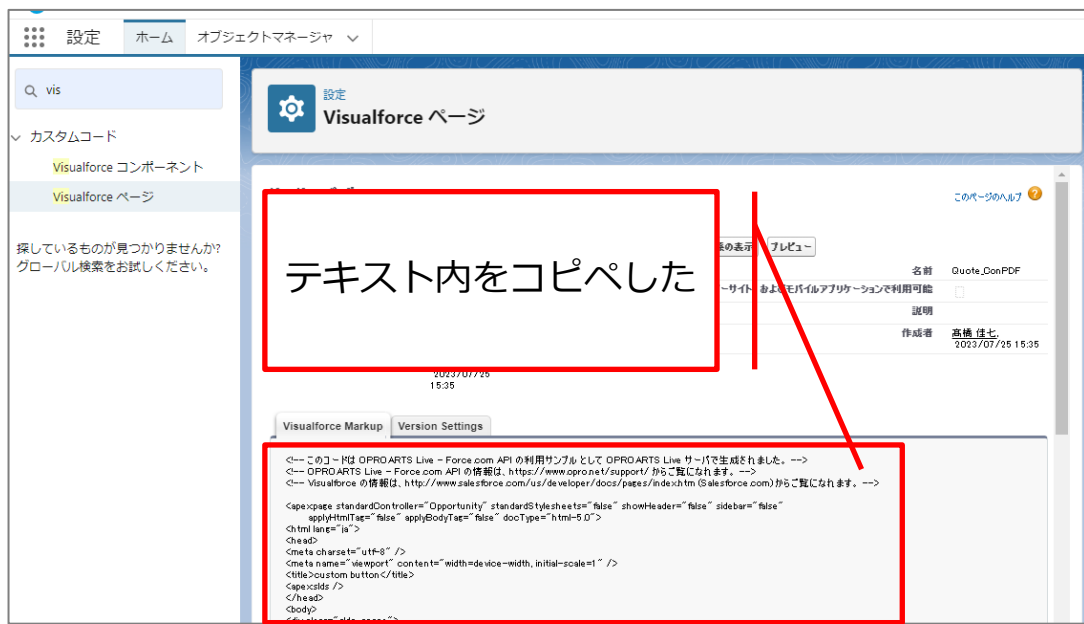
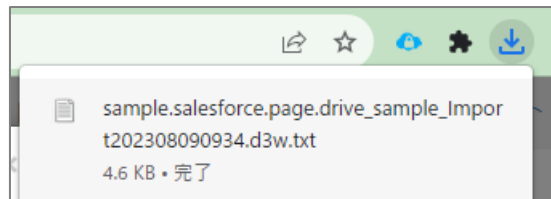
Visualforceページ

OnClick JavaScript

キャンセル

1. マッピングの「APIサンプル」をクリックします。
2. 「サービス」で「D3Worker」を選択します。
3. 「Visualforceページ」ボタンをクリックします。
 1. クラシック画面をお使いの方など、適宜「OnClick JavaScript」をダウンロードいただいてもけっこうです。

ボタン作成



1. テキストファイルがダウンロードされますので開きます。

2. Salesforceの設定から「Visualforceページ」を開き、新規作成します。1テキストの内容をコピーしてページを作成してください。

- このテキストは詳細ページから出力するためのコードです。リストビューページにボタンを置く場合はサポートサイトの記事をご覧ください。

- Lightning Experienceのリストビューページ用 ボタン作成 (ViewFramer)

ボタン作成

設定 > オブジェクトマネージャ

商談

詳細

項目とリレーション

ページレイアウト

Lightning レコードページ

ボタン、リンク、およびアクション

コンパクトレイアウト

項目セット

オブジェクト制限

レコードタイプ

条件

商談 アクション
新規アクション

アクション情報を入力

保存 キャンセル

オブジェクト名 商談

アクション種別 カスタム Visualforce

Visualforce ページ 見積書(Con-PDF) [Quote_ConPDF]

高さ 250 ピクセル

標準の表示ラベル種別 --なし--

表示ラベル 見積書Drive配信

名前 Drive

説明

アイコン ⚡ アイコン変更

保存 キャンセル

1. 主オブジェクトの設定画面から「ボタン、リンク、およびアクション」を開きます。

- リストビューにボタンを置く場合は以下の記事のボタン設定の手順に沿ってください。
- [Lightning Experienceのリストビューページ用ボタン作成 \(ViewFramer\)](#)

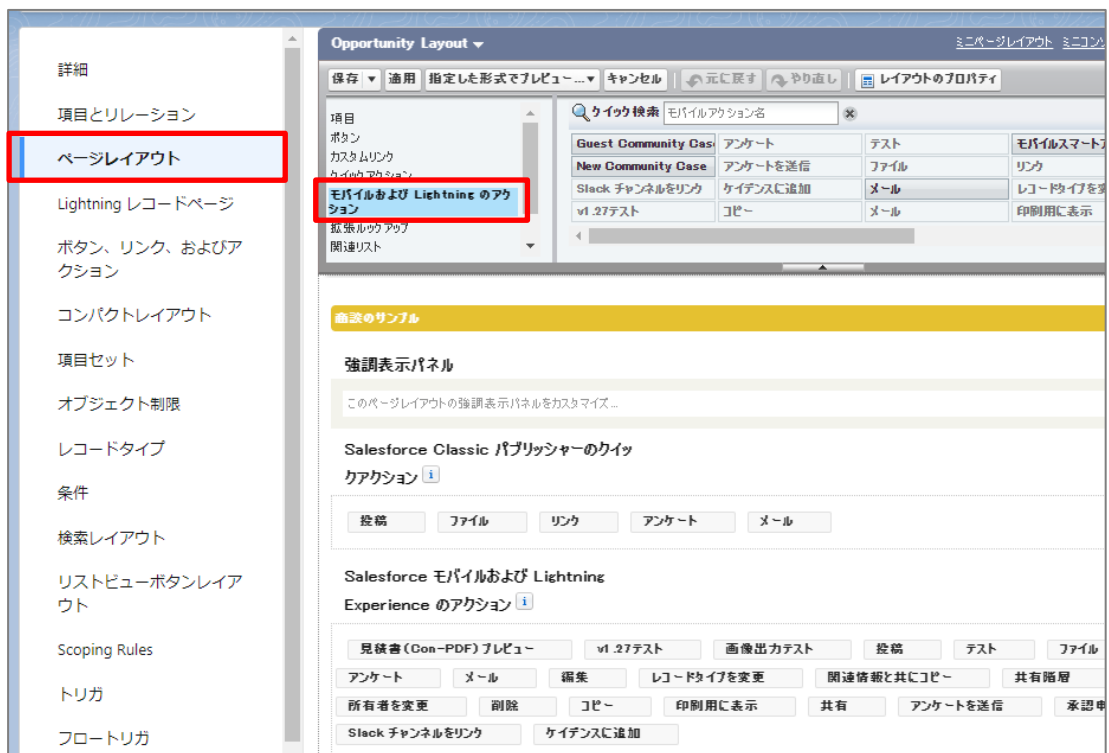
2. 新規アクションで以下の通り設定します。

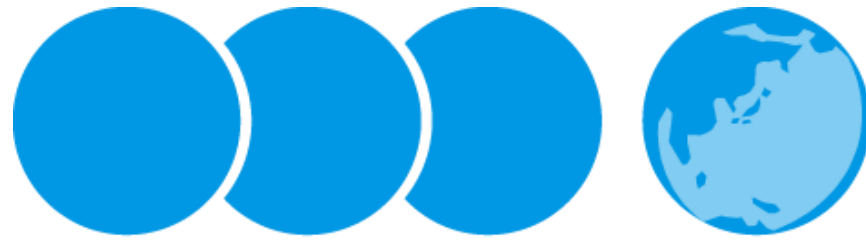
1. アクション種別：カスタムVisualforce
2. Visualforceページ：前ページで作成したページ
3. 表示ラベル：任意（ボタン名）
4. 名前：任意（システム名）

3. 保存をする。

ページに置く

1. ページレイアウトにボタンを表示します。
2. 「モバイルおよびLightningのアクション」から作成したボタンを選択しレイアウト上に置きます。
3. 保存します。





Less is More.